

「奈良大学図書館ってこんなところ」

CROSS OVER

令和2年度の幕開けは、新型コロナウイルス感染対策とともに始まりました。そのために、入構制限や、図書館の利用制限を余儀なくされてしまった新入生、これから図書館を利用しようと思ってくださっていたみなさんに向けて、図書館報「みささぎ」31号はいつもとは趣向を変えて、奈良大学図書館の紹介を特別号としてお届けします。

コロナ禍によってサービス内容を一部制限していますが、この「みささぎ」で、少しでも奈良大学図書館のことを知っていただき、興味を持つきっかけとなれば、とても嬉しいです。

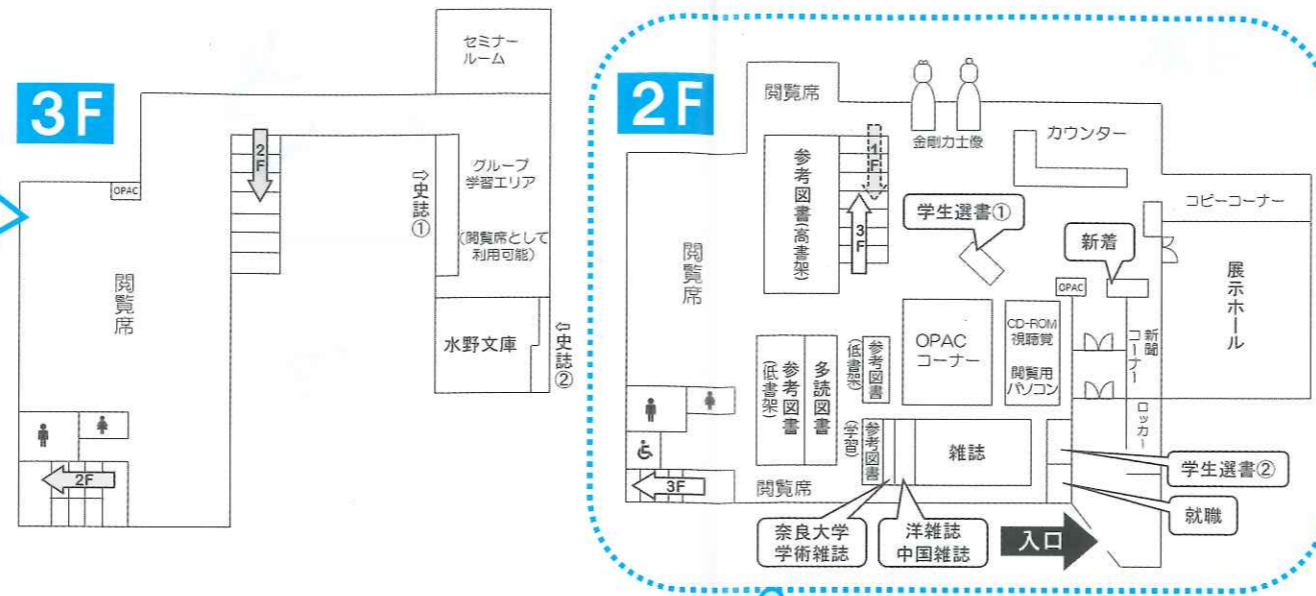


奈良大学図書館は、北館と南館に分かれており、北館は地上1～3階、南館は1階～地下2階の建物です。数多くの学術書・学術雑誌からなる蔵書は約56万冊にのぼり、奈良関係資料、都道府県史誌に加え、約6万冊を超える考古学関係資料を含めた文化財関連の専門書が約15万冊と、他でも類をみない充実度です。

キャンパスの中では、奥のほうにある大きな濠のそばに位置しており、学生たちは思い思いにのびのびと過ごしています。

今号では、奈良大学図書館を少しだけ紹介します。これを読んで「行ってみよう!」とか、「とりあえず見てみたい」「この資料が必要になった」、どんなきっかけでも、図書館はみなさんの来館をお待ちしていますので、ぜひ実際に訪れてみてください。

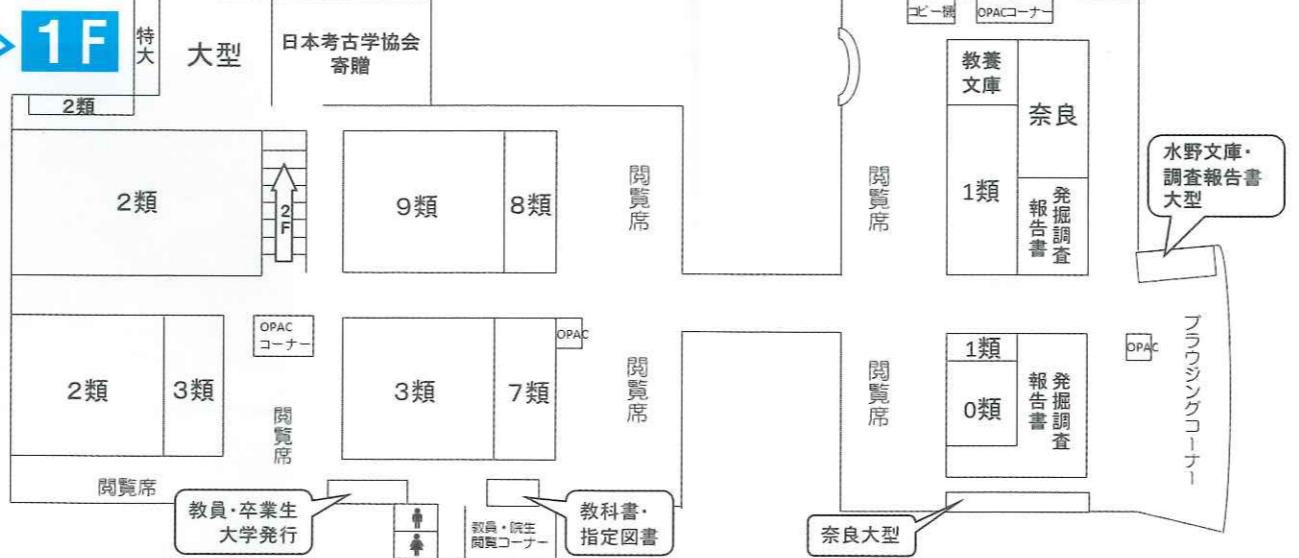
3階には広々とした閲覧席、グループ学習エリア、セミナールーム、水野文庫があります。
 水野文庫は故・水野正好 元学長より寄贈された蔵書です。
 グループ学習エリアやセミナールームは模擬授業や課題のミーティング等、グループでの学習に利用できます。
 (ご利用申し込みは2階入口前カウンターへどうぞ)



2階は皆さんが図書館に来るときに最初に入るフロアです。(1階と間違いやすいので、蔵書検索で1階の本を探すときは一つ下の階に降りてください。)
 参考図書(辞書・辞典など)・雑誌・学生選書・就職関連の資料があります。
 授業で使う多読図書のコーナーもこのフロアにあります。
 展示ホールでは、先生方や図書館主催の様々な展示が1年に4回程度実施されており、見応えのある内容です。

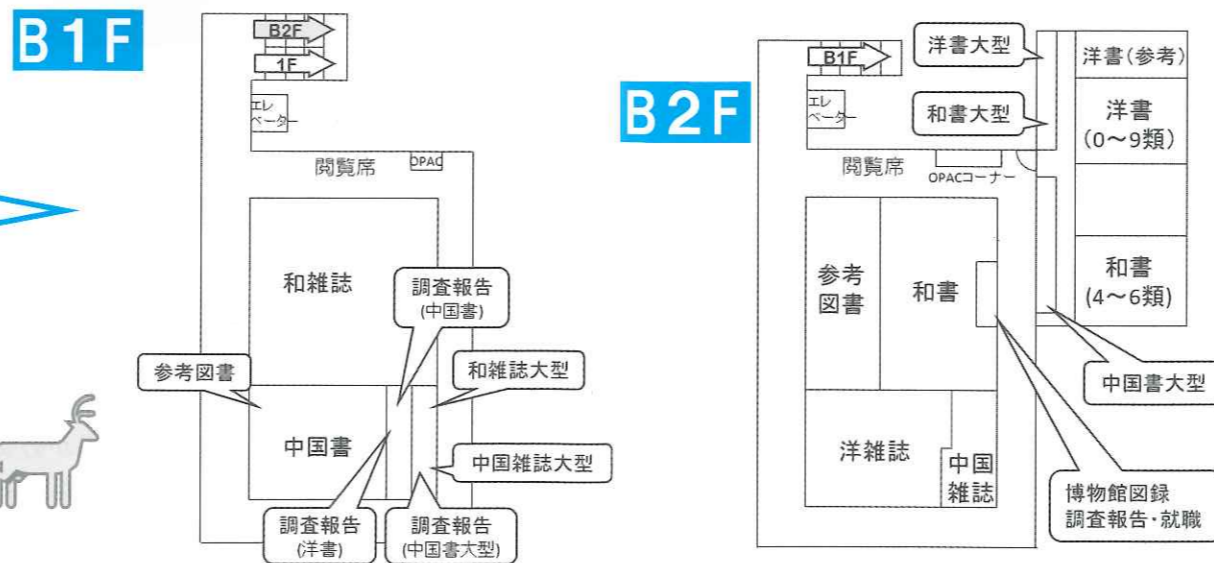
1階(北館)には請求記号(資料の背に貼られている3段ラベルの上段)が2・3・7・8・9から始まる和書が配架されています。
 壁面の棚には教員・卒業生・大学発行のコーナー、教科書コーナーがあります。
 日本考古学協会から寄贈された約6万冊の資料は、「電動集密書架」という移動式の棚にすべて収められています。

奈良大学図書館へようこそ!



1階(南館)には和書(請求記号0~1)や奈良関係資料、発掘調査報告書、教養文庫(新書等)があります。
 奈良に関連した資料を集めた奈良関係資料のコーナーは、幅広い分野のものが揃っており、奈良大図書館特有のコレクションのひとつです。
 ブラウジングコーナーは一面のガラス窓で見晴らしが良く、ここの閲覧席は奈良大生のお気に入りスポットでもあります。

地下1階には中国書や製本雑誌があります。
 2階や閉架に配架されている雑誌の刊行年が古くなったものを、まとめて一冊の本の形にしたものが「製本雑誌」です。



地下2階には、フロア側に刊行年の古い参考図書や和書、洋・中国雑誌、書庫には和書(請求記号4~6)や洋書があります。
 書庫は「電動集密書架」となっており、見たい資料がある棚を自分で操作して動かすことができます。

NARA UNIVERSITY LIBRARY FLOOR MAP



図書館統計 (2020年3月末)

| 年度 | 平成30年度 (2018) | 令和元年度 (平成31、2019) | 増減 |
|------------|------------------|----------------------|-------|
| 開館日数 | 275 | 274 | ▲1 |
| 入館者数 | 89,761 | 90,758 | 997 |
| 図書所蔵数 | 554,341 | 559,686 | 5,345 |
| 雑誌タイトル数 | 6,418 | 6,419 | 1 |
| 貸出総数 | 45,093 | 51,056 | 5,963 |
| 内 学生※ | 40,213 | 46,657 | 6,444 |
| 相互協力利用(依頼) | 375 | 325 | ▲50 |
| 相互協力利用(受付) | 589 | 677 | 88 |

※ 通信教育部生を含む

平成30年度から令和元年(平成31)年度にかけては、各項目増加傾向にあり、所蔵数については約56万冊に達しました。

入館者数、貸出数についても増加しており、前年度より図書館を活用いただく機会が増えていたことがわかります。

相互協力では、前年度とは逆に受付数が約90件の増加となりました。近年では受付数が増加傾向にあり、他館からの依頼も増えてきています。

日本で最初の図書館

日本で最初の公開図書館は「芸亭」^{うんてい}という名前で、一条高校のあたりにあったといわれています。今は記念碑しかありませんが、奈良時代の末期に石上宅嗣という人が自分で集めた本を平城京の自宅で公開し、「芸亭」^{うんてい}と名付けて希望する人に使えるようにしたようです。昔はどんなところだったのでしょうか・・・?



世界で最初の印刷物? 「百万塔陀羅尼」

奈良時代(西暦764年)、称徳天皇は、藤原仲麻呂の乱で亡くなった人の霊を慰めるため、陀羅尼経を印刷し、それを木製の小さな塔の中心に納め、十ヶ寺に百万基配りました。そのうちの一つが奈良大学図書館展示室にあります。興味のある人はぜひご覧下さい。



後記

コロナ禍によって図書館も少なからず影響を受け、今年度は今号のみの発行となりましたが、学生のみなさんも、長い間利用したくてもなかなか図書館に来れなかった方も少なくないと思います。そんな中で制限が緩和された時期に、新入生や在学生在が図書館を訪れ、久々に元気な顔を見せてくれたときは、みなさんに元気をもらうことができ本当に嬉しかったです。

今号は図書館紹介を中心にお届けしましたが、今後みなさんと図書館をつなぐひとつの“きっかけ”になってくれればよいなと思いつつ、ご来館をお待ちしています。(編集担当)

発行：令和3年2月15日

編集：奈良大学図書館 奈良市山陵町1500